

地域エネルギー交流会 2019年11月 議事録

2019年11月19日(火) 12時~13時
広島大学総合科学部 第3会議室

出席者；小野寺、市川、栗濱、古山(コヤマ)(広島大)、小池(エコネット東広島)
井上さん(FM東広島)、大村さん(さざなみ幼稚園)
吉田(市役所農林)、温井(市役所環境対策課)

1. 近況・情報交換

- ・古山先生(客員教授、マツダ寄付講座)；波動研究、震災直後のエネルギー不足対応・対策、(市川先生と共著論文)、プラチナ社会に寄与
- ・大村さん；保育士、菜園・野外体験担当(志和堀)、森づくり事業、森・里山の売買・貸借利用を進めて欲しい
エコネットでは福富で実施；継続に課題、再開→近いところであるといい
ジビエ活動；課題がありつつ、その中でも実行していく必要があるそう、今後整理
- ・市川先生；お子さんが11/10(日)森づくりパネルディスカッション；大道山竹炭工房に参加
- ・青山さん；講演会12/5「蓄電池社会」呉にて
- ・3/6；市主催、里山資源マイスター研修講習会(岩手大の山本先生講演)
→名称改善は「きこり」(古山案?)

2. プラチナ社会；古山先生

- ・【三菱総研HPより】高齢という一般にはシルバーという言葉が使われます。燻し銀と言うのも悪くはありませんが、燻しは錆び(酸化)ですから、活力あるというイメージが出ません。また、シルバーは貴金属としてはゴールドより下です。プラチナであれば、金よりも高価ですが、品格を感じさせ、輝きの失せない元気なイメージが出ると思います。20世紀の経済大国の日本を「黄金の国 JAPAN」に対比し、21世紀の日本を「プラチナの国 NIPPON」と呼ぶのはどうでしょうか。
21世紀の社会的課題を解決する。それを公共事業ではなく、産業化することで新しい産業と雇用を創出することで持続可能な社会システムを確立する。これが課題解決先進国への道筋です。これをプラチナ構想(Platinum Vision)と呼び、日本が世界に先駆けて実現しようではありませんか。
- ・エネルギー；上土幌の事例など、自給率400%、福岡ではごみ埋め立て地でのメタンの抑制活動
- ・三菱総研の小宮山先生は恩師、会社を立ち上げる予定
@やはり、同じことほどどこにもあるが、ネーミングは重要だろう。

3. 次回シンポジウム概要

テーマ；「持続可能社会ー里山とエネルギーと地域」(SDGs とバイオマス産業構想、里エネ or 地域循環共生圏)

薦田さん；3月6-7日はだめ、エコネット枠1(豊栄 or 河内のバイオマス利用の活動)

@1月には確定・案内、12月には講演者確定へ

日程調整(案)；

3/3；シンポ

3/9；市内野外研修；賀茂バイオマスセンター、大道山炭

シンポジウム講演者調整

市長；新電力のネタで依頼(日程確認；吉田さん)、

[副知事；エネルギー関係]=コメンテーター？

*森林・農林部門縮小の中で…(市川先生 or 温井さんから依頼)

田中隆弘先生(工)；バイオマス産業都市の持続可能性について

エコネットから；バイオマス利用

薦田さんあたり；龍王山の活動、豊栄の活動

市からの話題提供；1バイオマス産業都市構想2年間の総括及び展望、2市民の疑問に回答(里山バンク構想は可能か？ジビエの課題？)

地元企業；サタケ以外で、シャープ？JR？酒蔵？

事例を深める、関係人口増へのシステム、地元企業の役割

次回巡検(シンポジウムサイドイベント)について；3/9

シンポジウム・エコツアーと連動「賀茂バイオマスセンター、福富・豊栄の森などをめぐる」

ジビエを楽しむ

4. 次回 ; 12月23日 (月)
広島大学総合科学部 第3会議室